

令和 7 年度

事業報告書

公益社団法人大阪市ひとり親家庭福祉連合会

令和7年度 事業報告

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会

今年度は、4月から10月までの半年にわたり、当地大阪で55年ぶりとなる大阪・関西万博が開催され、国の内外を問わず多くの方々が来阪され、街に活気が感じられました。また、この間、愛光会館の事業実施につきましても、多くの方々の参加とともにご好評をいただきながら実施することができました。

一方、相次ぐ諸物価の高騰により、経済的に脆弱なひとり親家庭にあっては、生活全般にわたり、依然として厳しい状況が続いています。

国においては、2月8日に物価高対策や消費税減税を争点として衆議院選挙が行われましたが、これらの施策が一日も早く実施されることを期待するところです。

また、景気の動向は回復傾向にあると言われ、株価の上昇や特定の分野での人材不足が取りざたされていますが、希望者が多い事務系の職種では低調が続き、子育てと仕事を一人で担うひとり親家庭にあっては、就労への制約が多いこともあり、パート就労などの不安定な非正規雇用を余儀なくされています。

このような中、当連合会は、「愛光会館」の指定管理者として、親子の健全育成事業をはじめとする各種事業を実施しましたが、なかでも「ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業」におきましては、各種の就業支援講習会を開催するとともに、講習会の受講生や就業・自立支援センターの登録者を対象としてノートパソコンのレンタルやウェブ面接の指導を取り入れるなどの工夫を重ねながら、ひとり親家庭等の就業支援と自立支援に取り組みました。また、イベントや行事の開催にあたっては、参加者へのアンケートを実施し、ひとり親家庭等のニーズ把握とともに寄り添った支援が提供できるよう事業運営に努めました。

その他にも大阪市からの受託事業である「ひとり親家庭等日常生活支援事業」や大阪市の補助事業である「高等職業訓練促進資金貸付事業」を実施し、総合的なひとり親家庭等の支援に努めました。さらに法人独自の取り組みとして「交流

事業」や「教養講座」を実施するとともに、篤志家の協力を得ながらの「皓養奨学資金」の給付や「夢を応援基金（ローソン奨学金）」の申請受付事務にも引き続き取り組み、ひとり親家庭及び寡婦の福祉推進に向けて努力しています。

令和7年度に実施した事業は、次のとおりです。

I.公益目的事業

公益目的に資する事業として、愛光会館の管理運営事業をはじめ、ひとり親家庭等日常生活支援事業（大阪市受託事業）、ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（大阪市補助事業）を実施しました。

【1】愛光会館管理運営事業

1 愛光会館の管理運営

愛光会館は、ひとり親家庭・寡婦福祉事業の活動拠点施設「母子・父子福祉センター」として、ひとり親家庭等の自立に向けた各種の就業支援講習会、就業相談、就業情報の提供、職業紹介を行うほか、生活・法律相談や研修会、各種会議や集会の場などに利用される施設です。

運営にあたっては、利用者の誰もが安心して気持ち良く利用していただけることを第一とし、ご意見や要望・満足度等を把握するためのアンケート等を事業毎に実施しました。

また、「愛光会館運営委員会」を設置し、外部委員からの意見や助言を求め、事業内容の充実と効率的で円滑な運営に努めています。

さらに、当事者団体の視点から各種の研修会や講習会に一時保育を実施するなど、ひとり親の方が利用しやすい会館として、知名度のアップと利用率の向上に取り組みました。

会館利用実績　：　令和8年3月末　940回　延べ　8,769名）

※就業相談来館者含む

（前年同期　1,050回　延べ　9,242名）

2 講演会、講習会その他教養講座の開催

ひとり親家庭と寡婦の福祉増進、子どもの健全育成をめざし、次の事業を実施しました。なお、各種事業の実施にあたっては、広くひとり親家庭等に参加を求

めるとともに、既に実施している事業の見直しやニーズの高いものを事業化するなど、社会・経済状況に応じた事業展開に努めました。

（１）健全育成事業

①親子交流事業

社会から孤立しがちなひとり親家庭を対象に、親子で参加・体験できる学習や自然に触れる講座など、交流や学習する場を提供することにより親子の絆を育み、社会からの孤立感の解消や子どもの健全育成を図ることを目的に親子交流事業を実施しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所
COM' S カルチャー	8 月 3 日 (日)	「 - レザークラフト体験 - ミニポーチを作ろう ♪」	55 名	愛光会館
	2 月 23 日 (日)	「親子で手作り ♪ 味噌づくりにチャレンジ」	53 名	愛光会館
	3 月 8 日 (日)	「バスで行く ワクワクいちご狩りツアー」	77 名	神戸市
秋期体験学習事業	11 月 2 日 (日)	「親子で楽しむ芋ほりの つどい」	178 名	信貴山のどか 村（奈良県）
冬期交流事業	1 月 25 日 (日)	「親子でアイススケート＆雪 遊び」	85 名	ひらかた パーク

②児童の体験学習事業

子どもたちが自然豊かな郊外で生活体験や子ども同士の交流を通じて、自立意識の醸成や社会性等を育むことを目的に実施しており、引き続き、地引網体験を実施しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所
わくわくキッズ 生活体験学習	6 月 22 日 (日)	「親子で地引網体験」	95 名	岡田浦漁港

③ひとり親教養講座・研修会

ひとり親家庭の親等を対象に、生活や子育てに役立つ知識、意識や気持ちの持ち方、健康や医療、社会意識の向上など幅広い分野で学ぶ機会として実施しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所
ひとり親教養講座	7 月 27 日 (日)	「ストレッチ& ダンス体験」	21 名	愛光会館
	2 月 22 日 (日)	「楽しく作って健康に♪ ～味噌づくりに挑戦～」	22 名	愛光会館
離婚前後の 親支援セミナー	8 月 21 日 (木)	「ひとり親になるときに 知っておきたいこと」	5 名	愛光会館
若年寡婦研修会	8 月 31 日 (日)	「心を鎮める写仏体験」	23 名	勝林寺 (京都市)
寡婦研修会	9 月 3 日 (水)	「消費者トラブルにあわないた めに」	20 名	愛光会館
	2 月 4 日 (水)	「健やかに年を重ねるために ～食生活と体づくり」	20 名	愛光会館

④交流啓発事業

ひとり親家庭等の交流とともに、愛光会館の存在と会館が実施している事業を広く周知することを目的として愛光フェスタを開催しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所
愛光フェスタ 2025	10 月 26 日 (日)	愛光会館内の紹介と 各種イベント	362 名	愛光会館

(2) 生活支援講習会事業

地域社会における人間関係の希薄化が、生活面での孤立を招き、育児や生活に必要な情報が伝わらないという状況があります。

子どもの養育、健康、生活面での悩みを共有し、孤立感の軽減を図るため、ひとり親家庭並びに寡婦を対象に、各区において地域の状況に応じた生活支援講習会事業（講習、生活相談など）を実施しているところですが、母子部長会時において情報交換を行うなどそれぞれ工夫を凝らしながら、前年よりも実施回数の増加に努めました。

講習会等の実施実績 ： 令和 8 年 3 月末 112 回 2,591 名
(前年同期 107 回 2,541 名)

(3) ひとり親家庭等に対する各種相談事業

①身近な地域における相談事業

ひとり親家庭等の心身の悩み、ストレスは身近な人のアドバイスや適切

な情報に救われることも多いことから、住みなれた近隣で気軽に身上・生活相談が出来るよう、概ね小学校下毎にひとり親家庭等福祉相談所を設置しています。相談所員の資質向上を図るため7月に全体研修会を実施するとともに、12月には新任相談員に向けての研修会を実施しました。

○ 大阪市ひとり親家庭等福祉相談所の運営

令和8年3月末	:	相談所数	162ヶ所	(前年同期	168ヶ所)
		相談件数	4,362件	(前年同期	6,528件)

○ 相談所員研修会

全体研修会（エルおおさか）

7月13日(日) 129名

行政説明「大阪市におけるひとり親支援の基本施策や制度について」

講演 「相談者によりそった話の聴き方、声のかけ方」

新任所員研修会（愛光会館）

12月7日(日) 10:00～ 23名

「相談所員の業務について」・・・業務の内容等について

人権研修 DVD 視聴「あなたのいる庭」

②会館における各種相談

愛光会館での電話相談等

相談件数（就業相談は除く）:	令和8年3月末	313件
	(前年同期)	440件)

（４）ひとり親家庭支援制度に関する広報・啓発

①「ひとり親家庭等サポートブック」・「ひとり親家庭支援制度周知リーフレット」・「愛光会館事業案内リーフレット」の作成、ひとり親家庭等に関する制度の紹介と利用のための手引書としてサポートブック 35,000部、周知リーフレット 39,000部を大阪市と共同で作成し、区役所等関係機関に配布しました。

なお、サポートブックは最新の情報に常に対応できるよう二次元コードを活用しています。

また、愛光会館事業の紹介として「愛光会館リーフレット」を作成し、イベント参加者や講習会受講生に配付するほか、保育所、図書館等など関係機関に配布しました。

②ホームページの管理と LINE の活用

ホームページは携帯サイトや LINE とともリンクさせることにより、見やすくするとともに、タイムリーな情報をいち早く掲載して適正な管理に努めています。

また、就業支援講習会やイベント等は LINE から手軽に申込みができるため、多くの申込みや問合せがあり、利用者の利便性を高めています。

③情報紙「ひとり親家庭・寡婦福祉ニュース“OHANA”」の発行

ひとり親家庭等へ各種の情報提供と併せて市民のひとり親家庭等への意識啓発のために作成し、区役所、図書館等関係機関に配布しました。

Vol. 40 (5 月発行) 8,500 部

Vol. 41 (9 月発行) 9,000 部

Vol. 42 (1 月発行) 8,500 部

3 ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業

市内在住の母子家庭の母及び父子家庭の父、並びに寡婦の方（以下、「ひとり親家庭の母等」という。）及び児童扶養手当の受給が見込まれる方のうち離婚前からの支援が必要な方が、就業を通じて経済的・社会的な自立を促進することを目的として、次の事業を実施しました。

（１）就業相談と職業紹介事業

求職者の様々な問題、課題等に対し、キャリアカウンセラー有資格者と福祉経験者が専門的な立場からきめ細かな相談と助言を実施しました。

職業紹介にあたっては、コンピューターシステムによる求職・求人管理を行って就業相談員間の情報共有を行的確なマッチングを図るとともに、担当制による求職者個々の実情とニーズに応じた柔軟な職業紹介と情報提供後のフォローアップを行いました。

また、求職者がいつでもリアルタイムで求人情報を入手できる「求人検索サイト」を運営するとともに、履歴書・職務経歴書の作成指導、模擬面接の実施、履歴書用写真の撮影サービスなどを実施し、求職者へのサポート体制の充実を図りました。

また、求職者が事業者の求めるウェブ面接に対応できるようアドバイスや模擬面接を行うとともに、希望者にはオンラインによる就業相談面接を実施出来る体制を整備しました。また、各区が取り組んでいる地域支援調整チームの子育て支援部会に参画し、各機関や団体とネットワークを構築して地域

福祉の推進に努めるとともに、就業・自立支援センターの周知も行いました。

また、就業が決まった者であっても希望する者に対して、センター事業を利用できる「利用登録」制度を実施し、安定した就労の継続を支援する定着支援として各種相談・アドバイス等を実施しています。

・相談日時 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時まで

(火・金曜日は午後8時まで)

(2) 求人確保対策事業

求職者個々の就労条件が多様化していることから、より多くの職種や雇用形態の求人を確保する必要があるため、就業・自立支援センターへの直接求人とあわせて、ハローワーク等の職業紹介機関との連携やインターネット情報等の活用を行い、より一層の求人確保に取り組むとともに、対象企業に訪問に加え郵送による事業所案内や求人票を送付するとともに、令和6年度から求人専任担当職員を配置し、求人開拓に努めました。

また、センターの紹介による求職者を継続して雇用する事業主に対しては、国の特定求職者雇用開発助成金の支給対象となることから、この助成金の支給等について、求人事業主に十分な周知を図り、就業促進に有効活用しました。

さらに、大阪市（こども青少年局）と連携し、さまざまな機会を通じて企業や団体にひとり親家庭の母等の就業支援を依頼するなど、求人の確保を行いました。

《利用実績》

項目 \ 実績	R4 年	R5 年	R6 年	R7 年	前年同期比：％
就業相談件数	3,404	3,423	3,412	3,487	102.2％
新規求人件数	706	502	452	507	112.2％
新規求人数	1,501	1,181	1,250	1,672	133.8％
新規求職登録者数	572	566	498	540	108.4％
情報提供件数	4,087	3,249	3,403	4,158	122.2％
就職者数	304	270	267	305	114.2％
新規利用登録者数	559	525	673	764	113.5％
うち特開金※対象件数	22	5	7	9	128.6％

※特定求職者雇用開発助成金

(3) 各種就業支援講習会

ひとり親家庭の母等には、就業経験が少ないことや、求人条件にみあう技能・資格がないことで再就職に不安を抱えている人、またより良い就業に向けたキャリアアップを望む人などが少なくありません。そのため、就業に有用な資格取得・技能習得のための各種講習会を実施しています。

引き続きパソコン Excel・Word 講座の内容として仕事に役立つ PowerPoint や Zoom の基本操作を行い、事務職に向けての充実を図りました。

また、講習会申込者全員に就業・自立支援センターへの求職または利用登録を促し、就業相談・求人情報提供等自立に向けた支援を行っています。

《講習会事業》

講習会名	実施回数	応募者総数	定員(各回)	修了者数
パソコン入門 [15 時間]	1	10	12	6
パソコン Excel・Word [65 時間]	4	83	20	38
簿記 3 級 [75 時間]	2	39	12	17
医療事務 [75 時間]	1	19	12	8
フォークリフト運転技能講座 [35 時間]	2	21	8	16
介護職員初任者研修 [130 時間]	1	9	12	6
介護福祉士実務者研修 [340.5 時間]	1	8	12	5
介護福祉士受験対策 [50 時間]	1	8	12	6
看護学校（准看護師）受験対策 [93 時間]	1	11	20	8
就職支援セミナー [5.15 時間]	1	13	12	11

(4) 在宅就業推進事業

就業意欲があっても子育てや介護のために就職できない人、短時間の勤務にしか就けない人などを対象に、パソコンやインターネットを使った「在宅就業（在宅ワーク）」という新たな働き方をサポートすることを目的として、「在宅就業推進ナビシステム」を運営するとともに個別相談を実施しました。

また、「雇用型」在宅勤務の支援に注目し、ニーズの高い動画編集ソフトを使用した講習を含む「在宅セミナー」を開催します。

令和 8 年 3 月 14 日(土)～3 月 28 日(土) 3 日間開催 受講修了 8 名

（５）無料法律相談

ひとり親家庭等の養育費や遺産相続等の専門的な諸問題に対して、弁護士による無料の法律相談を実施しました。

毎月第２土曜日 午後１時～４時 第３水曜日 午後６時～８時
(いずれも要予約)

◆相談者数：60名〔相談件数：63件〕

(※) サラ金を

親 権	養 育 費	相 続	離 婚	認 知	金 銭 貸 借	損 害 賠 償	サ ラ 金	債 権 債 務	そ の 他	計
6	5	3	36	0	0	1	0	0 (※)	12	63

（６）レンタルパソコン

ひとり親の就業・自立に役立てるため、就業支援講習会の受講生及び就業・自立支援センターの登録者を対象にノートパソコンのレンタルを行いました。

レンタル実績件数 51件

【２】ひとり親家庭等日常生活支援事業（大阪市受託事業）

大阪市内にお住まいの母子家庭・父子家庭・寡婦が、技能習得のための通学や就職活動・恒常的な時間外勤務等の自立促進、疾病・冠婚葬祭等の社会通念上必要と認められる事由により一時的に日常生活に支障がある場合に、家庭生活支援員を派遣して生活支援や保育サービスを実施しています。

一昨年度からメールで派遣要請ができるようになり利便性を高めています。

７年度は、生活環境の激変での登録対象が拡充されたことから、激変家庭の利用が増加する一方、時間外勤務の減少などの影響を受け、利用総件数は減少しました。

利用状況 〔派遣延回数〕

令和８年３月末

母子家庭	717回	〈 前年同期	879回 〉
父子家庭	43回	〈 〃	40回 〉
寡 婦	18回	〈 〃	0回 〉
計	778回	〈 〃	919回 〉

① 登録家庭と家庭生活支援員登録者数

令和8年3月末

登録家庭数 292 世帯 〈 前年同期 321 世帯 〉

生活支援員数 467 名 〈 前年同期 448 名 〉

② 研修について

◆家庭生活支援員（子育て担当）養成研修会

日 程 平日コース 10月4日（金）～11月8日（金）

土曜コース 10月5日（土）～11月9日（土）

講座時間 各コース 31 時間（保育所実習含む）

会 場 愛光会館

修了者数 平日コース 24 名・土曜コース 15 名 計 39 名

◆家庭生活支援員スキルアップ研修会

日 程 6月29日（日）

会 場 エル・おおさか南館ホール

修了者数 139 名

内 容

講 演 「支援のために知っておきたい発達凸凹

～発達障害の知識と理解～」

講 師 アスペ・エルデの会 統括臨床ディレクター

元武庫川女子大学教授・小児科医 石川 道子 氏

家庭生活支援員より事例報告

【3】ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業（大阪市補助事業）

母子・父子自立支援プログラムの策定を受けて、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対して、住宅支援資金を貸し付けることにより自立の促進を図ることを目的として、令和4年度から当該事業を実施しています。

令和7年度実績 申請件数：123 件・貸付件数：122 件

令和6年度実績 申請件数：123 件 貸付件数：121 件

【4】ひとり親家庭高等職業訓練促進資金（入学準備金）貸付事業
（大阪市補助事業）

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し当該資金を貸し付けることにより、修学を容易にするとともに、資格取得を促進し、ひとり親家庭の自立促進を図るこ

とを目的として、令和6年度から事業をおこなっています。

令和7年度実績 申請件数：20件 貸付件数：20件

令和6年度実績 申請件数：17件 貸付件数：16件

Ⅱ. 法人の運営と事業

1 法人の運営

市民に開かれた公益法人として、ひとり親家庭並びに寡婦の福祉の向上に努めるとともに、未来を担う子どもたちが健やかに育つよう引き続き活動を進めました。

また、こうした活動のほか、法人の円滑な運営と組織の拡充を図るため、次の会議を開催し、ひとり親家庭等に対する自立支援施策への協力、啓発活動を進めました。

(1) 会議の開催

① 定時総会

6月21日 「令和6年度事業報告及び決算の承認」

「定款の一部変更について」

「令和7・8年度期 理事並びに監事の選任」

② 理事会

6月4日 令和7年度 第1回理事会

「定時総会の開催について」

「令和6年度事業報告及び収支決算報告」

「令和7・8年度期 理事並びに監事の選任」

「共同募金助成金の報告」

6月21日 令和7年度 第2回理事会

「令和7年度・8年度期新役員の選定」

「会長の職務代行者の指名について」

11月5日 令和7年度 第3回理事会

「令和7年度上半期の事業報告について」

3月25日 令和7年度 第4回理事会

「令和8年度事業計画（案）について」

「令和8年度公益目的事業の事業内容の承認について」

「令和8年度予算（案）について」

「資金調達及び設備投資の見込みについて」

③ 市正副会長・常務理事会 13回

④ 各区会長会（愛光会館） 10回

- | | |
|---------------|-----|
| ⑤ 会長・母子部長合同会議 | 3 回 |
| ⑥ 母子部長会議 | 1 回 |

(2) ひとり親家庭等に対する自立支援施策の推進への参画、啓発

「大阪市こども・子育て支援会議」、「大阪市社会福祉審議会」等の委員に係役員を派遣し、当事者意見を反映できる機会には積極的に意見具申するなど、子育て支援やひとり親家庭等に対する自立支援施策の推進・啓発に努めました。

(3) 新規会員の入会促進（会員増強月間の設定）

児童扶養手当の更新時期に合わせて8月を会員増強月間とし、「入会案内セット」（入会案内ビラ・入会申込書・返信用封筒・愛光会館リーフレット・会報「葦のうた」）を作成し、各区役所の窓口や各区での行事・会合の折に配布し新規会員の拡大に取り組みました。また、区民まつりの際に、リーフレットの配布を行いました。

2 法人の自主事業

(1) 奨学金の給付

関係協力団体等に事業の継続的な実施について理解をいただき、当会の自主事業として、次の事業を推進しました。

① 皓養奨学資金の支給

一般財団法人「皓養社」からの助成金を財源に、会員のひとり親家庭の高校3年生を対象に経済的理由により修学が困難な方に対し、選考により奨学資金を給付しました。

また、選考により奨学特別一時金を小・中・高校の入学時に給付しました。

・奨学資金	高校3年生(10,000円×12ヶ月)	95名
・奨学特別一時金	小学1年生(20,000円)	22名
	中学1年生(20,000円)	60名
	高校1年生(30,000円)	105名

② 「夢を応援基金『ひとり親家庭支援奨学金』」

平成29年度から一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会とローソンググループが協力し、ひとり親家庭の中学3年生と高校等の1～3年生を対象に実施する給付型奨学金制度で、当会は全母子協と連携し、大阪市内居住の者の受付、選考、推薦を行いました。

推薦枠 11名 受給者 11名

(2) 第73回大阪市ひとり親家庭福祉大会

開催日 9月28日(日)
会場 大阪市立阿倍野区民センター 大ホール
講演 「防災は自助・互助・協働のまちづくり」
講師 気象予報士・防災士 正木 明氏
参加者 350名

(3) 母・父に感謝するはたちの会

はたちを迎えたひとり親の子どもが、育ててくれた親に対して直接感謝の気持ちを伝え、ともに成長を喜び合う機会として開催しました。

開催日 1月17日(土)
会場 ホテルプリムローズ大阪
参加者 26世帯 52名

(4) しらゆり教室(寡婦・若年寡婦対象)

各区の寡婦・若年寡婦会員が社会的孤立を防ぎ、生きがいをもって日常生活を送ることを目的に開催しています。

開催日 ① 9月11日(木)「陶芸体験 豆皿作り」
② 11月13日(木)「骨を強くする健康セミナー」
参加者 ①24名、②24名

(5) 会報「葦のうた」の発行

会員への各種の情報提供と市民の方々に当会への理解・啓発を促すため、会報「葦のうた」を発行しました。

第74号(7月発行) 6,000部
第75号(1月発行) 4,500部

(6) 母子寡婦福祉研修大会への参加

①近畿・中部地区母子寡婦福祉研修大会(当番団体:大阪府)

開催日 9月14日(日)
会場 クレオ大阪中央
参加者 各区会長・各区母子部長 60名参加
内容 行政説明、講演、シンポジウム

②全国母子寡婦福祉研修大会(当番団体:鳥取県)

開催日 11月22日(土)～23日(日)
会場 米子コンベンションセンター

参加者	市正副会長、市母子部長、事務局	5名参加
内 容	行政説明、シンポジウム、講演	

(7) 飲料水自動販売機の設置

就業支援講習会の参加者や就業相談者をはじめとした会館利用者の利便性を図るため大阪市の承認を受け、飲料水自動販売機を設置しています。

(8) 大阪市、関係団体、地域等との連携

大阪市をはじめ、全国母子寡婦福祉団体協議会や大阪市社会福祉協議会、大阪府社会福祉協議会、大阪市民共済生活協同組合、みおつくし福祉会、なにわエコ会議（エコライフ部会、環境教育啓発部会）、大阪男女いきいき財団、大阪市地域女性団体協議会、大阪青少年を守る母の会、大阪府地域医療推進協議会などの諸団体との連携を図り、これら団体の行う事業等に参加・協力しました。

また、西成区で開催された「福祉の仕事発見フェア」において、愛光会館並びにセンターの事業紹介等を行いました。さらには、各区の地域福祉計画に基づく地域支援調整チームに、当会役員・職員が参加するなど、地域福祉推進の一翼を担っています。

(9) その他の取り組み

① J T B 限定貸切ユニバーサル・スタジオ・ジャパン「プレミアムナイト」招待株式会社 J T B より、日頃仕事や子育てで時間のないひとり親家庭が親子で交流の時間が持てるようにと、ひとり親家庭の親子 300 名を U S J の貸切プレミアムナイトに招待していただきました。

参加者（4 歳～中学 3 年生までの子どもとその親）113 世帯 286 名

② 当会活動の充実発展、ひとり親家庭等の福祉増進に資する事業について、引き続き各区共励会並びに会員の方々の協力を得ながら積極的な取り組みを進めています。

③ 法人の運営体制の充実を図るための取り組み

令和 7 年度においては、公益法人法の一部改正により、法人理事の選任にあたっては、1 名以上の外部理事の選出が必要となったことから、類似事業への従事経験を有する外部理事を選任しました。